

答申書作成資料

福祉施策審議会における主な意見

答申書
該当部分

作成者ごとに特化した取り組みが必要である。支援が必要な人に、ちゃんと届く情報発信をしてほしい。	1（１）
「個別避難計画」の作成は障害者にとって大切なこと。理解が進むよう、各団体への説明をするなど丁寧な対応をお願いしたい。	1（１）
「個別避難計画」の自己作成ができない人への支援が必要である。	1（２）
「個別避難計画」の作成案内が来ない高齢者のみ世帯の方が、災害時は避難支援が必要だと感じる。	1（２）
セルフプランでサービスを利用する方への計画作成の支援はどのようにおこなうのか。	1（３）
支援が必要だと言えない人に向けた、アウトリーチ型としてほしい。	1（３）
避難支援者が見つからないことで作成に至らない人への支援が必要。避難支援者が見つからない人を排除しない取組にすること。	1（３）
避難支援者が見つからない人には一緒に探すなどの支援をすること。	1（３）
要支援者と保護者が同居していると、「支え合い活動」は必要ないと感じるが、「支え合い活動」と「個別避難計画」は、避難所での生活も意識されると思えば考えも変わるので、わかりやすく案内してほしい	1（４）
「避難行動要支援者避難支援計画」は避難したその先を見据えたものが必要。紙に書いて終わりにしない取り組みをすべき。	1（５）
「要支援者は早めに避難」という意識になるように呼び掛けてほしい。	2（自助）
平時からの結びつきに課題を感じる。	2（共助）
個人情報に災いし、隣近所が地域に出てこない。	2（共助）
行政に頼っての「顔の見える関係づくり」は難しい。	2（共助）
地域の仲間づくりに老人クラブの活用を。	2（共助）
協定未締結自治会に強く協定締結を要望すべき。	2（共助）
地域の結びつきを深めることは自助努力では厳しい部分もある。行政の努力を地域に伝えてほしい	2（共助）
避難食にお粥やゼリーなどが必要だと感じた。	2（公助）
一般の避難所では苦勞する対象者の支援を考えられたい。	2（公助）
個人情報の管理が課題。本人が何を求めているか捉えないといけない。	3
個人情報の管理について、複製部数・責任者・配布部数の管理について記載すべき。	3
個人情報の管理では「適切に管理」などとせず、具体的な表現をすること。	3